

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

| | | |
|---|---------|--|
| 1 | 施設名 | 仙台市西多賀児童館 |
| 2 | 指定管理者 | 公益財団法人仙台ひと・まち交流財団 |
| 3 | 指定期間 | 平成30年4月1日から令和5年3月31日まで |
| 4 | 施設の利用状況 | 《利用者数》 18,585人 (前年度比 92.2%) 平成29年度 20,168人 平成28年度 19,548人 平成27年度 19,606人 |
| | | 《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業 |
| 5 | 収支の状況 | 《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 44,676千円 (1,838,795千円) ※非公募66館分 ()は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) |
| | | 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円) |
| 6 | 利用者の声 | 《実施状況》 利用者アンケート、地域懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。 |

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

| 評価分野 | | 所見 | 評価 |
|------|------------|---|-------|
| I | 総則 | 「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシートで確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。 | 33/33 |
| II | 施設の運営管理体制 | 職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。 | 30/30 |
| III | 施設・設備の維持管理 | 日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。 | 23/23 |
| IV | サービスの質の向上 | 名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。 | 28/28 |
| V | 施設固有の基準 | 夏季休業中に、児童クラブの高学年児童が災害時の過ごし方について触れ、防災意識を高める取り組みを地域団体と連携して実施している。また、子どもが発足させたけん玉クラブなど自発的な遊びを支援している。 中高生と小学生の交流の場として、高校チアリーディング部やジュニアリーダーとの活動を提供している。子育て支援クラブの自主的な活動を支援し、乳幼児、保護者、小学生対象の行事等を通して、育成支援の充実に取り組んでいる。 | 18/18 |

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

| 評価すべき取組み | 評価すべき理由 |
|----------|---------|
| | |
| 加点評価 | — |

四 評価総括

| 《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》 |
|--|
| <p>「地域の遊びの中心地 みんなをつなぐ児童館」を目標に掲げ、以下の3点を重点事項として取り組んできました。</p> <p>一つ目は、地域との連携事業の推進です。4年前から実施している「ハロウィンパレード」は、着実に地域に定着しています。子どもたちは、地元商店会の店舗を回りながら各商店の皆さんと交流を深めるとともに、地域の様子を知る良い機会にもなっています。</p> <p>児童館には、地域にある高校のチアリーディング部との連携から生まれたクラブ活動「にしたがチアーズ」があります。地域での継続した発表の機会は、子どもたちにとって大きな自信につながっています。また、地域のSBL(仙台防災リーダー)の指導のもと災害時のダンボールトレイやランタン作りをすることで、防災の意識を高めることもできました。町内会との共催で地域の方々七夕飾りを作り、交流会を行ったことも貴重な経験でした。</p> <p>二つ目は、併設されている市民センターとの共催事業の推進です。ジュニアリーダーの拠点館でもある市民センターとは、「西多賀今昔カルタ大会」や「ジュニアと遊ぼう」など、数多くの活動を実践してきました。地域に貢献する中高生と一緒に活動することが、子どもボランティアへの意識を高めることにもつながってきています。また、地域内にある公園整備作業にも参加し、奉仕の精神や自然愛護の気持ちを高めることもできました。</p> <p>三つ目は、乳幼児行事を充実したことです。多くの体験的な活動を経験することで乳幼児の成長を促すとともに、少しでも子育て支援につなげたいという思いからです。「ママとつくろう」「ひよこサロン」「幼児クラブ」「おはなし会」「ひよこちゃんよっといで」など、内容も工夫を凝らしてきました。楽しみに待っているという声も多く、来館親子も増加しています。今後も様々な交流の機会を通しながら、児童館の役割と活動を地域にさらに理解してもらえよう努力を重ねていきます。</p> |

| 《施設設置者（仙台市）による評価》 | 総合評価 |
|--|------|
| <p>平成30年度は施設の改築工事が終了し、11月の新館移転に伴い新しい環境での運営に取り組んでいる。</p> <p>主に小学生を対象に、製作活動を毎月平日と土曜日に各1回ずつ提供しているほか、体を動かす集団遊びや運動遊びを月例や振替休業日に実施するなど、子どもが利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。また、それらの遊びや活動の内容を広げ、児童の心身の健全育成に努めており評価できる。</p> <p>「七夕飾り作り」「ハロウィン」「カルタ大会」等の実施により、町内会や商店街の人々と交流し、地域の文化や自然に触れる機会を提供している。地域商店街をまわるハロウィン行事や地域秋祭りでのチアリーディング発表では、地域の中に活動の場を広げている。</p> <p>発達に応じた乳幼児の活動や参加者同士の交流の場を設けているほか、保護者も楽しめる製作活動等の場を毎月提供している。また仙台市体育館での移動児童館を実施するなど、地域の子育て家庭支援に取り組んでいる。</p> | S |

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室